

上鳥羽自主防災会 会長報告

令和元年8月10日(土)
上鳥羽自主防災会長 前川 勝六

京都市消防局では、平成30年度に発生した様々な自然災害により明らかとなった、各学区の防災行動マニュアル(情報伝達・連絡体制、情報収集や安否確認、避難誘導などが記載されたもの)に基づく自主防災活動での課題を解決し、自主防災組織の円滑な運営や活動の活性化を図るため、各行政区で課題検討会等を2回にわたり実施させていくこととしました。

南区では令和元年8月10日(土)午前10時南消防署4階講堂で南区各学区自主防災会会長が出席し〈地域防災力向上に向けた検討会〉が行われた。

1) 防災行動マニュアルの課題(情報伝達、連絡体制など)自主防災活動上の課題などについて意見交換会を行った。

※南区各学区防災会を3班に分けて、地域の現状、困ったこと、課題、取組み等、それぞれ各学区からからペーパーの書き出しをして、類似した項目を何分類かに分け、そこから共通課題をまとめた。

1. 住民に災害時の災害、避難情報等の伝達方法やその周知徹底をどう図るか等をまとめ、次回2回目の検討会の課題とすることを決めた。

※室崎友輔講師により行った。

次回2回目令和元年9月14日(土)午前10時～

2. 南区自主防災会会長、副会長、南消防署担当者が6月24日(月)日吉ダム研修を実施、日吉ダムの概要、管理状況、日吉ダムの目的、日吉ダム貯水池の使い方、洪水対応、日吉ダム下流域の特性、日吉ダムの情報提供、日吉ダム緊急時の下流到達時間、放流時の水位、データ放送の活用など研修内容の報告がパワーポイントによって行われた。